

ふじえしぎょらくえん 藤江氏魚樂園

所在地/川崎町
指 定/名勝



※庭園の中には入れません。



藤江氏魚樂園は、川崎町南部の安真木という集落にある庭園です。このお庭は、いまから約600年前の室町時代に活躍した水墨画家・雪舟がつくったものといわれています。雪舟は墨の濃淡だけで絵をえがく水墨画の技法を完成させ、日本各地を旅しながら美しい風景を多くえがきました。お庭の中心には「心」という漢字の形をイメージした池がつくられ、その周りには春に美しい花を咲かせるツツジや秋になると葉が赤く紅葉するモミジが植えられています。魚樂園という名前は、今から200年前に現在の行橋市に住んでいた学者・村上佛山が「魚が

楽しければ人も楽しい」という古い中国の詩を参考に名づけたといわれています。

福岡県には雪舟がつくったと伝わるお庭がたくさんあります。雪舟がどのように旅をしたのか、その大部分は謎のままですが、福岡県のとなりにある大分県に「天開図画楼」という家を建て、数年間、生活したことが分かっています。そのとき、福岡県を訪れて、絵をかいたり、お庭をつくったりしたのかもしれませんが。

このお庭は、先祖代々受け継いできた藤江さんがいまでも管理しています。モミジの葉が新しくなる5月や赤く紅葉する11月頃には、多くの人が訪れます。

【もっとくわしく調べたい】

○川崎町教育委員会社会教育課 川崎町大字田原 786-2 Tel 0947-72-3000

【藤江氏魚樂園に行ってみよう】

○福岡県田川郡川崎町大字安真木 6388 (料金) 300円

※現在、大雨被害による災害復旧工事のため観賞できません。